



◆ 下水道建設事務所のご紹介

- ・ 沖縄県での取り組み事例
- ・ 将来性・必要とされる免許資格

仕事の紹介

下水道は、家庭や工場から毎日排出される汚れた水を浄化センターできれいな水へ処理してから海や川へ放出することにより、沖縄のきれいな海を守っています。下水道がなければ、海や川に直接汚れた水が流入することになり、沖縄のきれいな海が汚染されてしまいます。

下水道事業の魅力は、基礎的学術分野を横断する総合科学であり、土木工学、建築学、機械工学、電気工学、化学、生物学、経営学など幅広い学問を横断し、それぞれが活躍できる職業です。

「下水道建設事務所」では、市町村の下水道(公共下水道)で集められた下水をまとめて処理するため、下水処理場施設(浄化センター)やポンプ場及び管渠等の建設整備を進めています。

浄化センターは、いつでも見学できますので、ぜひ、現場を見に来てください。



【写真】沖縄本島中南部西海岸(1969年頃)



【写真】下水道により「キレイな海」を創出(現在)

沖縄県での取り組み事例

- 米国民政府時代(1960年代)、沖縄本島中南部の急速な都市化による海洋・河川汚染問題が発生。
- 水質汚濁の改善を図るため、1964年(S39)に中南部統合下水道事業(現中部流域下水道)に着手。
- 流域下水道事業により「キレイな海」、「すてきな街」、「さわやかな暮らし」を創出。
- 下水道事業着手50年が経過した今、豊かな自然環境を生かした沖縄観光は、県経済を牽引。

「下水道の顔」マンホール蓋

Message

私が沖縄県(下水道建設事務所)に採用されて1年たって感じたことは規模がでかいということです。浄化センターは広いですし、設置されている設備も大きいです。さらに、発注する工事の金額も億超えと、社会人1年目の私には衝撃的でした。

下水道は新しい技術がどんどん出てくるので、どの技術を使えば効率よくできるかを考えたりするのが楽しいと思います。興味があればぜひ下水道に！

仲本 賢吾 那覇国際高校/琉球大学卒



将来性: 汚水を処理する際に発生する、汚泥・消化ガス・熱を再利用する技術が開発されており、循環型社会に貢献する期待値はかなり高い。

将来性 or 免許資格